

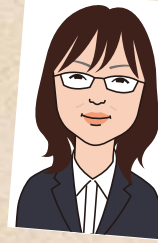
経営者の  
お悩みに対する  
処方箋

## 専門家からの提案書

経営にまつわる困りごとに、専門家からアドバイスをいたします。

topic	知的財産	特許・著作・商標・意匠などに関するアドバイス、トラブル対処法
problem	「知的財産権を経営戦略にどう活かすか」	

今月の提案者



知財総合支援窓口  
窓口支援担当者

山内 陽子氏

address | 札幌市北区北7条西4丁目3番地1  
新北海道ビルディング12階

phone | 011-747-8256

URL | <http://www.jiii-h.jp/>

### 「商標権」は登録したあとが大切です

最近新聞などでもよく「商標」の侵害問題が取り上げられますので、「商標」という言葉を知っている方も多いと思います。「商標」は私たちに大変関わりの深いものであり、また「商標」を上手に活用することは、大きなビジネスチャンスにつながります。

#### ■企業の利益を逃さないために

「あのお菓子、おいしかったよ！チーズが入ってて…」と聞き、ぜひ食べてみたいと思った時、どのようにして同じ商品を手に入れますか。名称が分かれば、陳列棚にある無数のチーズのお菓子の中から、その商品を選ぶことができるでしょう。ドライブ中、遠くに現れたハンバーガーショップのマークを見れば、すぐにどのような店なのか分かり、その店ではチェーン展開する全ての店舗で同じサービスが受けられます。このように、商標は「名称」であっても「マーク」であっても、分かりやすい目印となります。

しかし、もし同じような商品やサービスに、関係のない他人が似たような名称やマークを使用していたら、消費者は混同し、企業も利益を逃すこととなります。そのような事態を避けるために、商標を保護するものが「商標権」です。

#### ■商標を効果的に活用しましょう

特許庁に登録申請を行い認められることで独占排他的に商標を使用できる権利を得ますが、「商標」は登録しただけでは、何の価値もありません。

商標は、積極的にPRし、消費者に認知されるまで使い続けるとともに質の良い商品やサービスを提供することにより、その商標に信用が蓄積され、ブランドの価値につながっていくものです。そのため商標をうまく利用すればブランドイメージが高まり、ビジネスチャンスとなります。さらに特許権や意匠権などと違い、商標権は更新し続けることができ、商標自体が高いブランド価値を持つようになると、廉価な類似品が出ても、消費者は商標に蓄積された信用をもとに正規品を選んで購入するでしょう。このように「商標」を効果的にご自身の事業に活用してみませんか。

#### 【商標を活用したブランド化の例】

